

2014年度(2014・6月～2015・5月)

環境活動レポート

2015年6月19日

環境方針

■ 基本理念

当社の事業内容は工業用硝子製品の販売であり、それに伴う仕入れ・梱包納品等の全ての活動は地球環境への負荷を発生させることを常に認識し、地球環境の保全に配慮した事業運営を行います。

■ 環境保全の行動指針

1. 社員一人一人が環境方針を理解し、環境保全へ積極的に取り組みます。
2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守いたします。
3. 次の項目を当社が行う環境活動の重点項目とし、これに基づき環境目標を定め必要に応じ目標値を見直す等、継続的に効果的な取組を行います。

- ① 事務所内の省電力
- ② 営業車の省エネルギー
- ③ 水道使用量の削減
- ④ 廃棄物の削減
- ⑤ リサイクルの推進
- ⑥ コピー用紙の節約・有効利用
- ⑦ 協力工場における界面活性剤・洗浄剤等の削減
- ⑧ グリーン購入の促進
- ⑨ 環境保全に役立つ製品の開発及び販売に取り組む

4. 環境レポートを公表し、環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

2010年6月1日
株式会社シマコルツ
代表取締役社長 嶋 進

■ 事業の概要

取組の対象:全組織、全活動が対象

(1) 事業者名・代表者名

株式会社シマコルツ

代表取締役社長 嶋 進

(2) 所在地

〒114-0015

東京都北区中里2-27-3ASTビル101

(3) 環境管理責任者名・連絡先

冬木 肇

TEL 03-3918-1177 FAX 03-3918-1083

Eメール fuyuki-h@circus.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

工業用硝子製品の販売

(5) 事業の規模

売上高 345百万円/年 (2013年度)

従業員数 5名(2014年5月)

事業所延べ床面積 82.52 m²

■ 過去の環境負荷実績

項目	単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
二酸化炭素排出量	Kg-Co2	6092.5418	5774.088	5564.482	4705.80
CO2/売上高	Kg-Co2/百万円	10.997	10.385	12.365	13.64
廃棄物排出量	Kg	225	105	97	90.6
総排水量	m ³	162.07	70.356	67.431	67.5

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度		
4541.8	3854.5	3506.2	3253.34	3868.5		
11.2	11.6	12	11.2	11.2		
92.3	88.0	79.6	85.0	81.0		
65.0	66.0	65.0	62.5	66.0		

■環境目標及びその実績・中長期目標①

環境目標	基準値 *1	環境目標 (対基準値)			実績・評価	
		2014年度 運用期間 *2	2015年度	2016年度	2014年度 運用期間 *2	
電力消費量 削減*3	— 5,741 kWh 2,205kg-CO ₂	3%削減 5,569 kWh 2,138kg-CO ₂	3%削減 5,569 kWh 2,138kg-CO ₂	3%削減 5,569 kWh 2,138kg-CO ₂	6.9%削減 5,347kWh 2,053kg-CO ₂	○
都市ガス 消費量削減	— 405m ³ 854 kg-CO ₂	3%削減 393m ³ 828 kg-CO ₂	3%削減 393m ³ 828 kg-CO ₂	3%削減 393m ³ 828 kg-CO ₂	27.1%削減 295m ³ 622kg-CO ₂	○
ガソリン 消費量削減	— 1,185 ℓ 2,750 kg-CO ₂	3%削減 1,149 ℓ 2,667 kg-CO ₂	3%削減 1,149 ℓ 2,667 kg-CO ₂	3%削減 1,149 ℓ 2,667 kg-CO ₂	56.6%削減 514.04ℓ 1,193kg-CO ₂	○
CO ₂ 排出削減	— 5,809kg-CO ₂	3%削減 5,633kg-CO ₂	3%削減 5,633kg-CO ₂	3%削減 5,633kg-CO ₂	33%削減 3,869kg-CO ₂	○
水道 使用量削減	— 70.4 m ³	3%削減 68 m ³	3%削減 68 m ³	3%削減 68 m ³	6.3%削減 66.0 m ³	○
廃棄物 排出量削減	(可燃) 93kg	3%削減 90kg	3%削減 90kg	3%削減 90kg	19.9%削減 74.5kg	○
	(不燃) 9.0kg	3%削減 8.7kg	3%削減 8.7kg	3%削減 8.7kg	27.8%削減 6.5kg	○
	(古紙利用) 4 8 kg	10%増加 52.8kg	10%増加 52.8kg	10%増加 52.8kg	22.9%増加 59.0kg	○
用紙 使用量削減	(事務用紙) 17,006 枚	3%削減 16,500 枚	3%削減 16,500 枚	3%削減 16,500 枚	8.3%削減 15,587 枚	○
リサイクル の推進	ペットボトル	—	—	—	5Kg をリサイクルした。	○
	ペットボトル 古新聞	—	—	—	48Kg をリサイクルした。	○

*1:基準値は2006年6月～2007年5月の実績値。

*2:運用期間は2014年度。(2014年6月～2015年5月)

*3:電力による二酸化炭素排出係数は0.384kg-CO₂/kwhを使用。

*4:ペットボトル、古新聞のリサイクルについては現状値測定中。

■環境目標及びその実績・中長期目標②

環境目標	基準値	環境目標 (対基準値)			実績・評価	
		2014年度 運用期間 *2	2015年度	2016年度	2014年度 運用期間 *2	
協力工場における界面活性剤等の削減① 研磨工場 残存研磨剤の洗浄工程に従来使用していた中性洗剤をアルカリイオン水に全量代替する。	アルカリイオン水導入前の中性洗剤使用量 15 リットルに対して、11年度の試用期間に全量を代替できることが分かった。	0 (全廃)	0 (全廃)	0 (全廃)	0 (全廃)	○
協力工場における界面活性剤等の削減② MC加工工場 製品出荷前の洗浄、生産用治工具の洗浄にてアルカリイオン水を用いて従来使用していた有機溶剤を削減する。	アルカリイオン水導入前の有機溶剤使用量 10 リットルに対して、11年度の試用期間に50%程度を代替できることが分かった。	5 (50%削減)	5 (50%削減)	5 (50%削減)	3.0 (70%削減)	○
協力工場における界面活性剤等の削減③ 蒸着工場 基板の予備洗浄にて、アルカリイオン水を用いて従来使用していたアルカリ洗剤を削減する。	アルカリイオン水導入前のアルカリ洗剤使用量 10 リットルに対して、11年度の試用期間に50%程度を代替できることが分かった。	5 (50%削減)	5 (50%削減)	5 (50%削減)	4.5 (55%削減)	○
グリーン購入を促進する 会社で購入する文房具は、エコマークが付いている商品を優先的に購入する。	全購入点数におけるエコマーク付き商品の割合を 70% 以上とすることを目標とする。	70%以上	70%以上	70%以上	全購入数 33点 エコマーク付 33点 (100%)	○
環境保全に役立つ製品の開発および販売に取り組む 環境保全に役立つ製品を開発・生産し販売実績を記録する。	太陽電池検査用ソーラシュミレータに使用されるコリメータレンズの販売数 (個数)	—	—	—	14 個	○

*2:運用期間は2014年度。(2014年6月~2015年5月)

■ 環境活動計画と評価

活動計画	評価(結果と今後の指針)
<p>事務所内の省電力 休み時間、蛍光灯の半分を消灯する。 トイレ等の消灯の徹底。 OA 機器は節電モードで使用し、買い替えるときは省電力のものにする。 蛍光灯を順次省電力品に交換する。</p>	<p>目標を達成することができました。 使用しない場所の消灯をはじめ、エアコンの適正利用など省電力の活動が自然にできるようになったことは評価できます。省電力のエアコンに替えたことによる効果も大きいです。 引き続き、小さな積み重ねをおろそかにしないようにしたいと思います。</p>
<p>ガスの使用量の削減 ストープの温度設定を低め(19 度)にする。</p>	<p>目標を達成することができました。 ガスは冬期の暖房で主に使用されます。室内の空気を攪拌して暖房の効率をあげるなどの工夫はよかったです。エアコンとのバランスを上手に使用したいと思います。</p>
<p>営業車の省エネルギー 急発進・急ブレーキをしない。 タイヤの空気圧の適正化。 余分な荷物を積まない。 極力公共交通機関を使う。</p>	<p>目標を達成することができました。 営業車の台数を減らし、公共交通機関を使うことは多少の不便がありますが、補って余りある好結果を生むことができました。また、ハイブリッド車であることもガソリン使用量の削減に有利でした。</p>
<p>節水 水道使用時に蛇口を開き放しにしない。</p>	<p>目標を達成することができました。 当社の水道使用は、飲料等の生活用水です。日々の水道使用時における節水への心がけをこれからも忘れないようにしたいと思います。</p>
<p>廃棄物の削減 梱包用資材の再利用に努める。 紙ゴミを梱包用パッキンとして再利用する。 可・不燃ゴミの計量を実施する。</p>	<p>目標を達成することができました。 梱包用資材の再利用と裁断した古紙を梱包用パッキンに再生する活動は、当社の環境保全活動のなかで独自のアイデアが一番詰まっています。今後も創意工夫を凝らして活動を継続していこうと思います。</p> <p style="text-align: right;">(次ページの活動紹介をご覧ください)</p>
<p>リサイクルの推進 新聞紙・ペットボトル等はリサイクルする。</p>	<p>計画的にリサイクルしております。</p>
<p>協力工場における界面活性剤・洗剤等の削減 アルカリイオン水による代替により、協力工場で使用される界面活性剤・洗剤等の削減をする。</p>	<p>仕入れ先工場様の協力のおかげで安定的に洗剤等の削減が行われるようになりました。この場で感謝の言葉を述べたいと思います。</p>
<p>グリーン購入を促進する 会社で購入する文房具はエコマークが付いている商品を優先的に購入する。全購入点数に対するエコマーク商品の割合を 70%以上とすることを目標とする。</p>	<p>いわゆる 100 円ショップなどの商店ではエコマーク付商品が限られているので種類の多い文具店やカタログ販売を利用することで目標を達成できました。</p>
<p>環境保全に役立つ製品の開発および販売に取り組む 太陽電池検査用ソーラシミュレータに使用されるポリメータレンズの販売実績を記録する。</p>	<p>太陽電池パネル生産時の検査などに使用されるソーラシミュレータに搭載されるポリメータレンズの販売実績を記録し、HPなどで PR します。</p> <p style="text-align: right;">(次ページの活動紹介をご覧ください)</p>

■ 活動紹介

① 裁断した廃棄書類を利用した梱包用緩衝材



当社の製品のほとんどが壊れやすい硝子製品です。輸送中に箱の中で動いて壊れないように、緩衝材を詰めて出荷します。

この緩衝材、毎日かなりの量を使います。その一部にシュレッダーで裁断した廃棄書類を利用した手作りの緩衝材を使っています。(写真)

細かく裁断した廃棄書類を適当な大きさの袋に詰めるだけで簡単に作れます。

写真のような紙の袋を使っていますが、結構丈夫で数回使いまわせます。重宝しています。

② ソーラシュミレータ用コリメータレンズ



再生エネルギーとしてお馴染みの太陽光発電。使われる太陽電池が所定の発電能力を持っているかどうかを調べるには、太陽光と同じ光をあてて検査する必要があります。

人工的に太陽光を作り出す装置がソーラシュミレータです。この装置の中に当社のレンズが使われています。コリメータレンズという光を平行に照射するために用いられるレンズです。

これらの製品を通して、環境保全に役立つ企業活動を推進していきたいと考えています。

■ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、過去3年間にわたって訴訟等もありませんでした。

■ 代表者による全体評価と見直しの結果(2015年6月19日作成より。総括部を抜粋)

今年は特に見直すべきところはありません。

環境マネジメント活動は環境への負荷を最小限にするだけでなく、経費の削減などの副次的な効果で我社の営業活動に大きく貢献しています。本年も順調で喜ばしいです。